

NEWS RELEASE

<ニュースリリース>

2013年12月20日
PR13-K002

利用者様それぞれに適した体圧分散性能と
優しい触感の寝心地を提供

高機能静止型マットレス 『FEEL/フィール』登場



医療・福祉用品メーカーの株式会社モルテン(本社:広島市西区、代表取締役社長:民秋清史)は、高機能静止型マットレス『FEEL/フィール』(以下『フィール』)を2013年12月25日(水)より発売します。

従来のウレタンフォーム系静止型マットレスは硬さが一定なため、利用者様の体重や体型により体圧値が変わってしまうこと、あるいは長期間使用することで変形して元に戻らなくなる「へたり」が発生するようになりました。

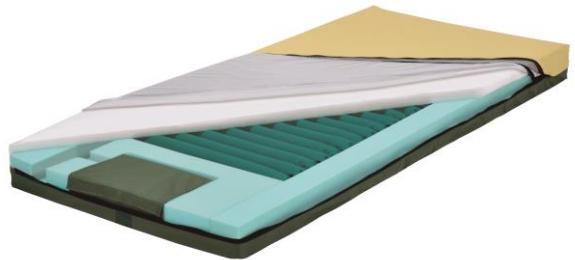
フィールは、体圧分散性能を低下させるこれらの課題を克服する製品です。平らで柔らかい繊維層、圧をコントロールするエアセル層、底着き防止のウレタンフォーム層による3層構造を採用しており、利用者様それぞれの体重や体型に合わせてエアセル層の圧を自動で最適な状態に調整します。ご自分で動けるものの一部介助が必要なかたや、^{とうつう}疼痛のかた(熱傷、腰痛、関節炎、骨折、リウマチ、がん性疼痛などによる)を主なご利用対象としています。

モルテンは、身体状況が悪化されたかたへの褥瘡ケアや緩和ケアでの貢献、生活機能の拡大と身体機能の改善を目指されるかたへの貢献を目標に掲げています。今後も医療・福祉に携わるかたの QOL(生活の質)をいっそう高める製品づくりをおこなってまいります。

■ 製品特長

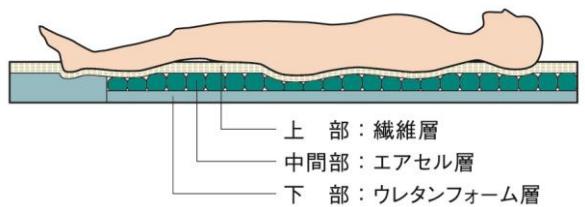
1. 常に安定した体圧分散性能

利用者様それぞれの体重や体型に合わせてエアセル層の圧を自動で最適な状態に調整します。また、エアセルで身体を支えるため、長期間使用によるへたりが発生せず、体圧分散性能が低下することはありません。



2. 優しい触感と寝心地の良さ

上部表面に採用した平らで柔らかい繊維層で、疼痛のかたにも安心してお使いいただける優しい触感と寝心地を実現しました。



3. 設定操作いらずの省エネ設計

電源プラグをコンセントに差し込むだけで自動で圧力制御を行います。電気代の目安は1ヵ月あたり0.1円です。

■ 製品概要

品名	FEEL/フィール			
品番	MFEL91	MFEL83	MFEL91S	MFEL83S
サイズ	幅 91cm × 長さ 193cm	幅 83cm × 長さ 193cm	幅 91cm × 長さ 182cm	幅 83cm × 長さ 182cm
厚さ	13cm			
重量	9.2kg	8.6kg	8.7kg	8.1kg
価格	¥118,000(税抜)			
発売日	2013年12月25日(水)			
素材	マット ポリエステル／ウレタンフィルム／高耐久ウレタンフォーム カバー 伸縮性ウレタン合皮(防水仕様／制菌加工)			
生産国	日本			

■ モルテンの医療・福祉用品事業

モルテンは創立34年目の1991年に最初のエアマットレスを開発・発売し、医療・福祉用品事業に参入しました。床ずれ(※)防止のための体圧分散式エアマットレスを国内で初めて高機能化するなど革新的な製品を供給する一方で、身体にかかる圧の基礎研究とその成果発表を継続しておこなっています。さらに、看護・介護教育の重要性に着目して医療従事者向けセミナーを実施し、最新の看護・介護にかかわる機器や技術について実演を交えながら解説しています。これらの活動によって多くの患者様や医療従事者から高い信頼を得ており、業界では体圧分散式マットレスのリーディングメーカーと認知されています。

現在は病院、施設、在宅向けに以下の製品群を展開しています。

- <病院・施設・在宅向け> 体圧分散式マットレス／ポジショニングツール／口腔ケア用品
- <施設向け製品> リハビリ関連機器
- <在宅向け製品> 電動式介護ベッド／手すり／スロープ

※床ずれ…別紙の参考資料をご参照ください。

■ 製品画像(JPEG)もご用意しております。

ご入用の際は、下記問い合わせ先までご一報くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

読者お問い合わせ先

株式会社モルテン 営業本部 : 03-3625-8510

報道関係者からのお問い合わせ先

株式会社モルテン 広報室 担当:荒武(広島) 中森(東京)

〒733-0013 広島市西区横川新町 1-8 TEL:082-292-1247 FAX:082-292-1386

〒130-0003 東京都墨田区横川 5-5-7 TEL:03-3625-8304 FAX:03-3625-8306

《参考資料》

◇褥瘡／床ずれ とは

皮膚表面に圧力が持続的に長時間かかり続けることで血流が阻害され、その結果皮膚が壊死してしまった状態をいいます。医学的には「褥瘡」と呼ぶ疾病で、一般に「床ずれ」と呼ばれています。

寝たきりの患者様など、長時間同じ姿勢で寝ていたり座っていたりすると、床ずれになる可能性が高くなります。また、床ずれになるまでには「痛み」→「しびれ」→「苦しさ」といった不快で危険な状態があり、床ずれはこれらの状態が改善されないまま時間が経過した最悪の結果といえます。

一旦床ずれになってしまふと治るのには時間がかかり、特に在宅で対応するのは非常に困難になります。

◇床ずれを防止するには

寝ているときには体にかかる『圧迫力』や『ずれ力』などを取り除くことが重要です。その方法として挙げられるのが『体位変換』という看護・介護技術で、健常者が寝返りをうつような姿勢変更を介護者が数時間おきにおこなうものです。

しかし、床ずれ対策の体位変換は2時間ごとに昼夜問わずおこなう必要があるうえ、腰を痛める場合もあり、特に在宅介護や老老介護では負担が大きくなってしまいます。このため、体圧分散式マットレスなどの福祉用具をうまく活用することが最善の方法です。公的介護保険では『床ずれ防止用具』の品目で借りることができます。

◇モルテンのおもな体圧分散式マットレス ラインナップ

■オスカー

自動体位変換機能付き 高機能エアマットレス

対象者)動けない人(全介助)

体位変換ができない環境の人



■ステージア

高機能エアマットレス

対象者)動けない人(全介助)



■フィール

高機能静止型マットレス

対象者)一部介助で動ける人

疼痛の人

